

1977 年有珠山噴火 30 周年記念事業 - 北海道洞爺湖サミット開催決定記念事業 -

有珠山は 20 世紀 4 回噴火し、本年は 1977 年噴火から 30 年を迎える。この活動は、2 年におよぶ噴火と 4 年にわたる地震活動（地殻変動）により建物や道路、社会インフラ等に甚大な被害をもたらした。

2000 年噴火から 7 年が経過し、復旧復興事業や地域資源を活かしたエコミュージアム（自然博物館）づくりが関係機関の連携のもとで推進されているなか、洞爺湖周辺において 2008 年主要国首脳会議の開催が決定された。

火山との共生、共生するまちづくりの歴史は「有珠山周辺の固有の地域文化」である。

1977 年噴火後 30 年のまちづくりを振り返り、自然との共生、環境、減災・人づくり等を広く議論し、火山と共生する地域文化を伝承し、広く情報発信すること等を目的に次の事業を実施する。

1977 年有珠山噴火 30 周年記念フォーラム

「1977 年噴火後 30 年のまちづくりと次の噴火に備える」

日 時 平成 19 年 8 月 7 日（火）18:00～21:00

会 場 壮警町公民館（〒052-0101 壮警町字滝之町 245 番地）

冒頭プレゼン 北海道大学名誉教授 岡田弘氏

特別講演 「有珠山 - 噴火の歴史とまちづくりのこれまで・今後 - 」

北海道大学名誉教授 勝井義雄氏

記念講演 「活火山と共存する街づくり」

砂防地すべり技術センター 理事長 池谷浩氏

パネルディスカッション「次の噴火に備えた地域づくり」

コーディネータ 防災情報機構 会長 伊藤和明氏

パネリスト 北海道大学有珠火山観測所長 大島弘光氏

室蘭地方气象台次長 佐藤徹氏

有珠火山防災会議協議会 伊達市主幹 阿部正義氏

三松正夫記念館長 三松三朗氏

入場無料！！ 多数の方の参加をお願いします。

会場内ではパネル展示も予定しております。

パネル展示 テーマ：1977 年噴火と地域の 30 年を学ぶ

（10～15 枚程度のパネル展示）

主 催 有珠火山防災会議協議会 30 周年事業実行委員会

詳細問い合わせ 壮警町役場総務課 TEL 0142-66-2121 FAX 66-7001

フィールド学習会 1977-78年噴火口と小有珠、有珠新山登山
- いぶり火山マイスター制度の検討に向けて -

日 時 平成19年8月8日(水)9:00~16:00

主 催 有珠火山防災会議協議会 共 催 北海道胆振支庁
サポ-ト そうべつエコ友の会

案 内 専門家 北海道大学名誉教授 岡田弘氏
北海道大学名誉教授 宇井忠英氏

対 象 原則、有珠山周辺(1市3町)居住者(小学生は保護者同伴)30名。先着順

参加料 無料

コース(行程案、天候等により一部変更有り)スローペースで行動
難易度C 体力C 気力A 行動距離7km 外輪山部分標高差250m

9:00 昭和新山 三松正夫記念館集合

9:15 有珠山ロープウェイ

10:00 火口原展望台~南外輪~ 火口原展望台

11:00 銀沼火口・I火口~ 小有珠~ 西外輪~ (バス移動)

12:00 北外輪(第4火口)~ 有珠新山

14:00 有珠新山下山開始 15:00 北外輪~ (バス移動)で下山

16:00頃 昭和新山着 解散

装 備 登山可能な靴、軍手、飲料、弁当(必須)、カメラ、メモ、ヘルメット(主催者でも用意)

備 考 小雨決行。荒天等、催行の判断は前日15:00に行います。

申込み、問い合わせ 壮警町役場総務課へ TEL 0142-66-2121 FAX 66-7001

